

よこ ぜ まち 横瀬町



町の概要

横瀬町は、埼玉県北西部、秩父地域の南東部にあって都心から70km圏内に位置しています。町域は東西8.2km、南北9km、総面積49.36㎢で、東は飯能市、西北部は秩父市に隣接しています。気候は、山地に囲まれた盆地であるため、寒暖の差が比較的大きいものの、四季を通じて概ね穏やかです。

主要道路及び鉄道は、国道299号と西武鉄道秩父線が東西に走っており、横瀬・芦ヶ久保の2駅が設置されていて、通勤・通学の足として、また秩父地方の東の玄関口としての機能を果たしています。

横瀬町のデータ

面積	49.36㎢
人口	7,516人(R7.11.1)
世帯数	3,334世帯(R7.11.1)
事業所数	342事業所(R3経済センサス)
従業員数	2,785人(R3経済センサス)
製造品出荷額等	29,742百万円(R2) (RESAS 地域経済分析システム)

横瀬町の産業

石灰石を原料としたセメント、石灰窯業が町内産業の基幹を成しており、経済センサスでは町の製造品出荷額(約250億円)のうち約64%を占めています。また、果樹を主体とする観光農業が活発で、豊かな森林資源と雄大な自然景観、そして札所をはじめとする歴史的な文化遺産も多数有しており、首都近郊の観光地としても知られています。

主な立地企業(順不同)

UBE三菱セメント(株)、三菱マテリアル(株)、秩父石灰工業(株)、
菱光石灰工業(株)、武甲鉱業(株)



横瀬町イメージキャラクター
「プコーさん」

地域資源

町のシンボルでもある標高1,304メートルの「武甲山」は、日本二百名山の一つに数えられており、伏流水は平成の名水百選に選定されました。山頂や登山口でのトイレの設置や一の鳥居登山口付近の駐車場増設など、登山者向けサービスの充実により、年間を通じ多くの登山客が訪れています。

全体面積約5.2haの埼玉県内最大級と言われる棚田「寺坂の棚田」では、地元農家が中心となって、都市住民の稲作体験や、夏は螢・秋は彼岸花とコラボしたイベントが行われ、近年では「つなぐ棚田遺産」に埼玉県で唯一認定されるなど現在観光スポットとして注目を集めています。

また、芦ヶ久保地区には観光団体と地元ボランティア団体との連携により「あしがくぼの氷柱」が形成され、駅と会場を結ぶ遊歩道の整備、ライトアップイベントの実施などにより、新たな冬の観光名所となっています。



武甲山と寺坂の棚田